

## AKAMAI CUSTOMER STORY

# スモールビジネスを支える クラウド会計サービスの安全性強化プロジェクト

## Akamaiの総合的なセキュリティサービスと親身なサポートで 安全性レベルの底上げに成功



機密データを狙うサイバー攻撃を  
確実に防ぐ高可用性を備えたWAF



多様なセキュリティ対策を統合して  
安全性と運用性を向上



セキュリティ運用にまつわる問題を  
親身なサポートで解決

### 会計データを攻撃から守る 高品質なセキュリティサービスの重要性

弥生株式会社(以下「弥生」)は、「弥生会計」や「やよいの青色申告」など、中小企業や個人事業主など人的リソースが限られているスモールビジネス事業者の会計業務や関連業務の効率化を支援するためのツールやサービスを提供している。2014年にクラウド申告ソフト「やよいの白色申告 オンライン」をリリースした後、デスクトップ版ソフトウェアとクラウドサービスの両軸でサービスを展開。2023年には新ブランドとして「弥生 Next」を発表。クラウドサービスのさらなる拡大に取り組んでいる。

「私たちの歴史は古く、多数のお客さまのフィードバックを製品やサービスに生かしてきました。おかげさまで2023年9月には登録ユーザー数は310万を突破し、個人事業主向け会計ソフトでシェアNo.1という調査結果も得られています。デスクトップ版の根強い需要にこたえながらも、近年のクラウド志向を鑑みて将来におけるさらなるクラウド活用に向けてサービス強化に努めたいと考えています」と、弥生 管理本部 人事総務部 マネジャーの石井智之氏は述べている。

サービスのクラウド化を積極的に推進してきた弥生では、セキュリティ強化が課題となっていた。「弥生シリーズで管理されているデータは、会計などに関わる非常にセンシティブな情報を中心です。またクラウド会計ツールでは、金融機関が提供するAPI連携機能が重要な要素となりますが、その利用にあたり厳密なセキュリティ対策を取ることを金融機関から求められます。そのため脆弱性の検査やライブラリのスキャンなど開発段階での安全性確保と同時に、WAF (Web Application Firewall) のような攻撃の矢面に立ってデータを守る仕組みの構築・運用を図ってきました」と、開発本部 情報システム部 テクニカルリーダー 伊藤太亮氏は述べる。

しかし、弥生シリーズのユーザーが増えて利用形態も多様化していくにしたがって、十分なサービス強化を図ることができないのでは、という懸念が増大していった。特に同社のユーザーの多くを占める個人事業主などは、勤務時間帯が多様で、通常のビジネスタイム以外に帳簿整理などを行うケースも多く、24時間365日のシステム稼働が欠かせない。しかしそれまで利用していたWAFでは、稼働率やサポートサービスに難があり、より高品質なセキュリティを提供できるサービスへの移行が望まれていた。

### 高品質な総合サービスで セキュリティレベルを底上げ

WAFの見直しに関して、もともと弥生では Akamai の CDN をソフトウェアのアップデート配信などに活用していたこともあって、Akamai が提供する WAF / DDoS 対策 Kona Site Defender (現 App & API Protector) に注目した。

「Akamai には、以前から親身になってサポートしてくれたという信頼感がありました。WAF の導入検討に際しても、詳しくサービスの特徴を解説してくれたおかげで、弥生のサービスに適しているかどうかを判断できました。運用面でも優れた可用性を提供していただいております。Akamai の WAF であれば、すべてのお客さまが安



#### Company

<https://www.yayoi-kk.co.jp/>

#### Industry

情報サービス  
金融サービス

#### Solutions

- App & API Protector
- Bot Manager Premier
- Client-Side Protection & Compliance



「Akamai は検討時からサポートが手厚く、自社に最適なセキュリティ対策を導入しやすいと感じました。高品質なサポートに支えられたおかげで導入・運用も安心して推進でき、弥生シリーズの安全レベルを大幅に高めることができた実感しています」

石井智之氏  
弥生株式会社 管理本部 人事総務部  
マネジャー



心して利用できる環境を用意できると考えました」と、開発本部 情報システム部 プロジェクトマネジャー 中島隆文氏は述べている。

Kona Site Defender を導入した弥生では、セキュリティ事情の変化に対応して、さらなる強化策が必要と考えていた。そこで同社は、統合ログイン環境である弥生 ID への BOT 攻撃による不正ログイン試行を防ぐ Bot Manager Premier や、クライアントサイドでスクリプトを悪用してエンドユーザーデータの窃取を狙う Web スקיミング攻撃を防ぐ Client-Side Protection & Compliance を、順次導入している。

「さまざまなセキュリティ対策ツールを多様なベンダーが提供していますが、バラバラに導入すると運用しにくく、セキュリティレベルを保つのが困難になるという欠点があります。Web セキュリティ全般を確かな技術力とサポートでカバーする、Akamai の Web アプリケーションセキュリティポートフォリオに統一することで、運用性も安全性も高められ、管理負荷も軽減できると考えています。当社はさまざまなアプリケーションを運用していますが、できる限り Akamai の高度な Web セキュリティを適用することで、セキュリティレベルの標準化を図りたいと考えています。その点で、Akamai の総合的なサービスが一助となっています」と、開発本部 情報システム部 エンジニアの辻野健太郎氏は評価する。

現在は、Kona Site Defender から、Web アプリケーションと、API の保護と攻撃検知能力が向上した App & API Protector へとアップグレードを終え、アプリケーションごとに WAF を導入・運用していた体制から情報システム部での統合的な運用へ転換を進めている。アプリケーションをつなぐ統合ログイン環境、弥生 ID への不正ログイン BOT 対策も目に見える成果をあげている。

「Bot Manager Premier は検知精度を上げるための継続的なチューニングが重要な要素になります。そのため、導入当初は自社の環境に最適化しようと試行錯誤を繰り返しました。しかし Akamai は非常に手厚いサポートを提供してくれて、大きな課題はもちろん、ちょっとした質問にもスピーディかつ確に答えてくれました。Akamai のサービスは、いままで見えていなかった潜在的なセキュリティリスクや攻撃を確実に可視化できることが特徴の1つです。経営者やビジネス部門への説明に際し、セキュリティ対策の効果をはっきり示すことができる点も大きなメリットだと感じています」(伊藤氏)

伊藤氏らは、提供している各種のアプリケーションや、連携するスマホアプリで利用する API などのセキュリティレベルを横断的に底上げすると共に、各サービスの特製や要望に柔軟に対応して強固なセキュリティのしくみを整備していきたい意向である。

## 多彩なサービスの安全性向上につながる 親身なサポート

弥生は、歴史ある会計ツールの開発会社として知られていたが、いまやクラウドサービス /SaaS 事業者へと舵を切っている。バックオフィス業務や事業支援に関わる各種のサービスを提供し、スモールビジネス事業者のさまざまなニーズに応えられる多角的な総合サービスの展開が同社の目指す姿だ。そうした将来に対して石井氏は、「SaaS としてサービスを提供するにあたって、サービスの強化はもちろんですが、セキュリティ投資をおろそかにすることはできません」と強調し、そのサポート役として Akamai の働きに期待している。

「弥生シリーズは非常に多くのユーザーを抱えており、その総数と比較して小規模な組織で、大量のデータを保護しなければなりません。また、脅威は極めて急速に変化・発展しており、その問題へスピーディかつ確実に対応できるような対策も必要です。Akamai には、これまでどおり高品質なサービスと手厚いサポートによって新しい問題へ対処できる力を提供していただくと共に、権限の委譲や管理の自動化など運用負荷を軽減する付加価値の強化にも期待したいと思います」(石井氏)



弥生株式会社  
開発本部 情報システム部  
プロジェクトマネジャー 中島隆文氏



弥生株式会社  
管理本部 人事総務部  
マネジャー 石井智之氏



弥生株式会社  
開発本部 情報システム部  
テクニカルリーダー 伊藤太亮氏



弥生株式会社  
開発本部 情報システム部  
エンジニア 辻野健太郎氏



スモールビジネスの事業の立ち上げと発展の過程で生まれるさまざまな課題に応える「事業コンシェルジュ」をビジョンとする企業。会計・商取引・給与計算などのバックオフィス業務を支援するソフトウェア「弥生シリーズ(クラウドサービス/デスクトップソフト)」と、起業や資金調達などを支援する「事業支援サービス」の開発・販売・サポートを提供している。代表的な製品・サービスである「弥生シリーズ」は登録ユーザー数 310 万を超え、多くのユーザーの支持を得ている。

アカマイ・テクノロジーズ合同会社[英文名: Akamai Technologies GK] email : info\_jp@akamai.com HP : <https://www.akamai.com/ja>  
東京本店 〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目2番1号 東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー Tel:03-6897-9450



Akamai について  
Akamai はオンラインライフの力となり、守っています。世界中の先進企業が Akamai を選び、安全なデジタル体験を構築して提供することで、毎日、世界中の人々の生活、仕事、娯楽をサポートしています。超分散型のエッジおよびクラウドプラットフォームである Akamai Connected Cloud は、アプリと体験をユーザーに近づけ、脅威を遠ざけます。Akamai のクラウドコンピューティング、セキュリティ、コンテンツデリバリー各ソリューションの詳細については、[akamai.com](http://akamai.com)およびブログをご覧ください。X (旧 Twitter) と LinkedIn で Akamai Technologies をフォローしてください。

アカマイ・テクノロジーズ合同会社は、1998 年に設立された、アカマイ・テクノロジーズ・インク(本社:米国家サチューセッツ州ケンブリッジ、最高経営責任者:Tom Leighton)が100%出資する日本法人です。アカマイは、ウェブサイト/ モバイルアプリの最適化、快適なユーザー体験、堅牢なセキュリティを実現する各種ソリューションを提供しており、日本国内では約600社が当社サービスを利用しています。

©2023 Akamai Technologies, Inc. All Rights Reserved. 書面による明示の許可なく本文書の全体もしくは一部を複製することは禁止されています。Akamai および Akamai の波のロゴは登録商標または商標です。本文書で使用されている他の商標の所有権はそれぞれの所有者に帰属します。アカマイは、本刊行物に掲載の情報がその公表時点において正確であると確信しています。ただし、かかる情報は通知なしに変更されることがあります。本文書の内容は個別の事例に基づくものであり、個々の状況により、変動するものです。本事例中に記載の肩書きや数値、固有名称等は取材当時のものです。変更されている可能性があることをご了承ください。発行日:2024年5月